

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標:発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像:よりよい未来を共に創り出す人間

第3号 2025年3月6日(木)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

交流保育・授業からみられる幼小中一貫教育の良さ

山口大学教育学部附属幼稚園 副園長 高田 和 宜

幼小中一貫教育に取り組むことで「子どもたちはどのように育っていくのか」との問いに、入り口の幼稚園児の育ちの姿から出口の中学3年生の育ちの姿とのつながりを探ると答えが見えてくると思います。やまぐち学園のめざす人間像は、「よりよい未来を共に創り出す人間」としています。これは、幼小中一貫教育によって「児童・生徒のテストの点が高得点になるようにする。」というような知識量を増やして質問に応じて解を取り出す能力を育成することではありません。もちろん、基礎的・基本的な「知識や技能」は必要ですが、これに加えて、「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力など」を含めた幅広い学力を育てることで、予測困難といわれる未来を自分なりの役割を果たしながら主体的に社会貢献していく人間を育てようとしているのです。そのような力を発揮して学ぶ姿が園児と中学3年生との交流保育・授業で見られました。まず、園児と中学生とでグループを作り、ランチ会をしたり遊んだりして、事前に親しくなる機会をもちます。その後、中学生は技術科の授業でマイクロビットを使って園児が楽しめるモノ作りに取り掛かります。今までかかわった園児の様子からどんなことなら楽しめるか、理解できそうかななどを仲間と相談しながら作るものや遊び方を検討します。中学校の授業を参観しましたが、まるでおもちゃメーカーの開発室のようでした。また、課題と感じた自分たちのグループの園児とのかかわり方については家庭科の授業で考えていきます。おもちゃのお披露目の日には、園児の様子から遊びの進め方やルールを変更したり、園児に合わせてたりして柔軟に対応する姿が見られました。この園児らは小学校低学年では生活科で園児をお客として招く側になり、中学校ではまた幼稚園児におもちゃを作る役割を担うこととなります。このような幼小中のかかわりのつながりが、ワクワクしながら主体的に学んでいき「確かな学力」と「生きる力」をはぐくんでいくと考えています。



【附属幼稚園】

年長児を対象に給食体験が1月末から週1回計7回行われています。いつもは家のお弁当ですが、その日は、隣接している附属小学校の給食室から給食が運ばれます。前日に栄養教諭の瓦屋先生から給食クイズを交えながら給食が楽しみになるようなお話がありました。「給食は誰が作っているでしょう？」の質問に「ロボット！」の声も。調理員さん4人で作っていることや、子どもたち6人で手をつないだ位の鍋や身長程ある杓文字の大きさに驚いていました。給食には毎回、瓦屋先生と年長児に給食のことを教えたい気持ちで一杯の小学1年生や5年生数人が来ています。食べる前に自分が食べられる分量に調整できることや牛乳パックの潰し方など、少しずつ給食のことを知ることができ、安心していきます。瓦屋先生の“苦手なものは残していいけど一口だけ頑張ってみて”の言葉を覚えていてチャレンジしてみる姿や、食べてみると美味しくておかわりする姿もたくさんありました。安心や自信につながるようにという小学校の先生の配慮が嬉しいです。優しい小学生や先生の存在を知ること入学してからの安心感や一歩踏み出す勇気になると思います。春からの生活が楽しみになりますように。



【附属山口小学校】

1月16日(木) 5年生は山口大学で音楽発表と大学見学を行いました。音楽発表では、合唱曲として「校歌」や「君をのせて」、「BELIEVE」を合奏曲として「ルパン三世のテーマ曲」を大学の学生や先生、保護者の皆様へ向けて披露しました。子どもたちは、5年生全員で心をつにした演奏をしたという思いをもち、練習に励みました。本番では、これまでの練習の成果を発揮し、多くの賞賛をいただきました。また、大学見学では、武道やデザインといった実際の講義を体験したり、教育学部の施設や大学図書館を見学したりすることができました。今後も大学と連携した教育活動に励みたいと思います。

1月22日(水) 外国語活動の授業の中で3年生が山口大学の留学生と交流を行いました。子どもたちは、様々な国から日本に留学している方々に興味津々でした。留学生が、大学の講義などで事前にゲームや読み聞かせを用意していて、それを3年生と一緒に楽しみました。それらの活動を通して、子どもたちは、多様な言語や文化に興味をもったようです。給食時には、日本の給食と他国の給食を比べ、違いを楽しみながら会話をする様子が見られました。また、昼休みには鬼ごっこをしたり、鉄棒を披露したりしている子どもたちの姿が見られ留学生との交流を楽しんでいました。



【附属山口中学校】

10月30日(水) 1年生が山口大学留学生との国際交流活動を行いました。ハンガリー、アメリカ、フランス、韓国、タイ、台湾の留学生の皆さんから、出身国の文化や学校生活について日本語でのプレゼンがありました。生徒たちは各国の文化に興味津々！たくさんの質問を積極的に行っていました。



11月17日(日) 白石フェスティバルのボランティアに中学生が参加し、ジュースやおにぎりの販売、会場設営の準備・片付けなどを、一生懸命行いました。また、ステージでは附属小中合同チームで「よさこい」を踊りました。事前に「よさこいカルマ」という団体の指導の下で合同練習を行い、迫力あるステージで会場を盛り上げました。生徒に地域貢献の機会をいただき、感謝申し上げます。

11月26日(火) 山口市民会館で芸術鑑賞会を行いました。山口驚流狂言保存会の米本太郎先生による狂言の鑑賞会(演目「不毒」)とワークショップを行いました。生徒はステージで実際に衣装を着たり、「謡」や動きを体験したりしました。身近な地域にある伝統芸能。まずは知り、興味をもつことが伝統を受け継ぐ一歩になります。



12月26日(木) 2年生が本校で迎春準備を行いました。地域の方3名を講師にお招きし、門松やしめ飾りづくりを行いました。生徒は、初めての作業に悪戦苦闘しながらも、立派な正月飾りを作ることができました。また、2年生保護者15名に豚汁作りのご協力をいただき、活動後には全員で鍋を囲んで楽しい時間を過ごしました。新年を迎える日本の伝統を今後も大切にしていきたいです。